

ユーグループ サステナビリティ

U GROUP SUSTAINABILITY

SDGsの達成に向けて

1. より良いサービスの提供

2. 環境課題への貢献

3. 地域社会との連携

4. 安全で快適な職場の創出

特集 ゼロカーボン化と地域の防災貢献に向けて

SDGsの達成に向けて

SDGs達成に向けた経営方針

弊社は真のモビリティカンパニーを目指すと共に、お客様や地域の方々を大事にし、その生活を豊かにすることや、環境問題など各地域が直面する課題に積極的に対応する努力を続けています。地元企業や自治体と相互に協力し合い、SDGsを実践するサステナブルな企業として、社員1人ひとりがそのことを自覚し、各々の役割を果たしていくことにより、2030年が年限であるSDGsの達成に貢献して参ります。

◆SDGs（持続可能な開発目標）とは

「Sustainable Development Goals」の略。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓った国際目標です。

長野県SDGs推進企業登録制度

登録事業者：ユーグループ

登録期：第1期（2019年7月26日認定）

登録期間：2022年7月26日～2025年7月25日まで（3年更新）

◆制度概要 ※長野県の作成要領抜粋

県内企業等が行う企業活動とSDGsの関連性について「気付き」を促し、SDGs達成に向けた具体的な取組を促進することにより、当該企業の企業価値の向上や競争力の強化などを図るとともに、県内企業等におけるSDGsの普及を促進する。（2019年4月26日制度発足・同年7月26日第1期企業の認定）



長野県SDGs推進企業登録証

1. より良いサービスの提供

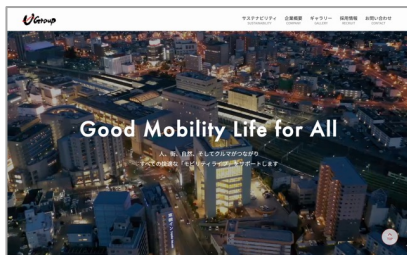


CS活動

当グループではホームページ内にお問い合わせフォームを設置し、ご意見を伺っています。また、長野トヨタでは整備内容や対応について等のアンケートを行っており、お客様から頂いた貴重なご意見はタイムリーに店舗へ反映することで、サービス向上を図っています。

商品広告・広告宣伝

トヨタ車を中心とした当グループの商品をタイムリーに訴求するために、当グループでは新聞・テレビ・雑誌・ラジオといった広告媒体をはじめ、WebサイトやSNSを活用した情報提供を行っています。



ユエグループホームページ



長野トヨタホームページ

お客様との対話促進

当グループでは、トヨタ自動車、フォルクスワーゲングループジャパンよりリコール（自動車が道路運送車両の保安基準に適合しなくなるおそれがある状態、または適合していない状態で原因が設計・製作の過程にあること）情報が連絡を受けた際に、当グループで販売したお客様へ迅速にご連絡し、無料修理をしています。

流通・販売網の充実

長野県のお客様に取り扱い商品の販売、メンテナンスをする為には、整備された物流システムと、全県を網羅した店舗展開が不可欠です。当グループは、須坂市にユー・ボディアンドペインティングの本社工場、上伊那郡に新車点検の伊那事業所を持ち、全県93拠点（2022年10月末現在）のネットワークを活用してお客様への商品販売とサービス提供を行っています。



2. 環境課題への貢献

木質バイオマス発電



ユーグループと清水建設(株)の合併事業会社「信州ウッドパワー(株)」は、長野県東御市に木質バイオマス発電所を建設しました。同社子会社の「信州ウッドチップ(株)」が地域の森林から間伐材やマツクイ虫被害材等を調達し、切削チップに加工したものを発電のための燃料としています。

バイオマス発電を通した一連の活動により、脱炭素社会への貢献、従業員の現地採用による街の活性化、森林の成長や山地生態系の保全に繋がる「循環型社会」の仕組みを形成しています。



カーボンニュートラルに向けて



当グループの長野トヨタではハイブリッドカーのラインアップを豊富に取り揃えています。

ハイブリッドの普及を牽引してきた「プリウス」や、CO₂を出さず水素で走る燃料電池自動車の「MIRAI」、電気自動車では「bZ4X」、フォルクスワーゲン車では「ID.4」をラインアップしています。

また、フォークリフトの販売・整備を行うトヨタL&F長野では排気ガスが出ない電動フォークリフトも取り扱っており、車だけではなく環境に優しいラインアップを幅広くご用意することで多くのお客様からご用命をいただいています。



2. 環境課題への貢献

省エネ設備の導入



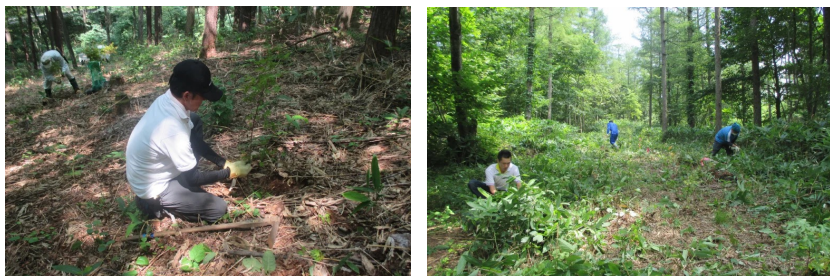
店舗で使用する電力の使用状況を常に監視するため、8店舗にデマンド監視装置を設置しています。（2023年3月現在）



里親事業



飯綱町と提携し、土地の整備と植樹作業を1年間通じて社員が行っています。



アフアンの森



森田いずみ氏を理事長とする「財団法人C.W.ニコル・アフアンの森財団」では、長野県黒姫高原の森を保有し、生態系としてのバランスを崩してしまった森の再生活動を行っています。この「アフアンの森」では森の再生活動、心の再生活動、普及交流活動が実施されており、ユーグループではこの活動に感銘し、2009年より森林整備事業オフィシャルスポンサーとして活動を支援しています。

グリーンキャンペーン



「緑ゆたかにふれあいの街。」この願いをこめて、第1回（1976年）以来、毎年緑の苗木を長野県に贈り続け、2023年までに累計24,689本の苗木を寄贈しました。



2. 環境課題への貢献

うっぴいの森林（もり）



ユーグループは、CO₂削減、エコ活動を目的としたエコプロジェクト「うっぴいの森林（もり）」活動を行っています。ユーグループは、地球環境の保全に取り組む基本理念の立場からグループを挙げて、里山の育成活動を推進しています。

県内の8割を森林が占める長野県にとって、里山の保護・育成は持続可能な社会を作り上げていくうえで欠かせない手段です。「うっぴいの森林（もり）」と名付けられた里山を保有し、CO₂削減、リサイクル、生物多様性の維持などのエコ活動を展開することで、積極的に長野県の自然環境保護に関わっていきたいと考えます。

また、里山の保護・育成活動等のグループとしての支援ばかりでなく、県内各地のユーグループ拠点の社員ひとりひとりが、企業市民として地域の皆様との交流を深め、エリアで達成できるエコプロジェクトの実現を目指します。

全工場LED化・太陽光発電設備



長野県では「気候非常事態宣言」が宣言されており、省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大の推進などに取り組み、「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」とすることを



決意しています。そこで、当グループのユー・ボディアンドペインティングでは工場内の照明器具全てをLEDに交換し、「板金棟」と「中古車ライン棟」の工場の屋根に太陽光パネルを設置しました。これらにより、日中の消費電力の半分を再生可能エネルギーで賄うことが可能です。

雨水利用



車両の洗車には、大量の水を使用しなければなりません。当グループのユー・ボディアンドペインティングの本社工場（須坂市）では、雨水を地下タンクへ貯水し、浄水したうえで、車両洗車に有効利用しています。



2. 環境課題への貢献

まるまるクリン



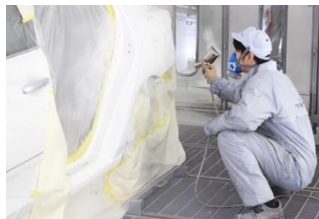
トヨタ自動車が一定の作業項目を定め、考案した中古車洗浄システム「まるまるクリン」では、人と環境への配慮として、洗浄には「植物原料の環境対応」型洗剤を使用し、車を使用されるお客様のみならず、作業者及び排水への影響に配慮しています。



水性塗料



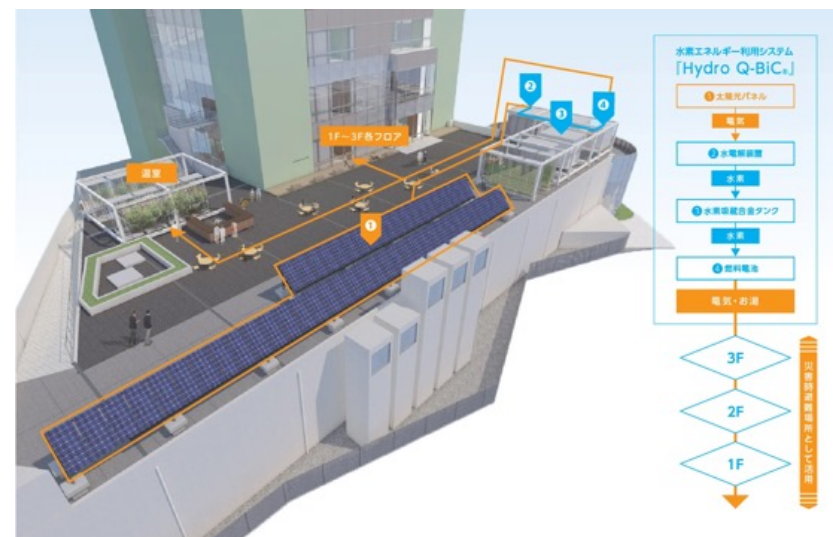
当グループのユー・ボディアンドペインティングでは2007年7月の工場増築を機に、水性塗装対応ブースを設置し、光化学スモッグの発生原因となるVOC（揮発性有機化合物）の発生を大きく削減することができる水性塗装を始めました。旧工場スプレーブースも水性対応できる機器を設置し、入庫台数に対応する水性塗装台数の割合を上げています。



水素エネルギーシステムの導入



ユーグループ本社のプリズムビルは、ゼロカーボン化に向けた取り組みと地域の防災貢献の第一歩として水素エネルギーシステムを導入しました。システムから生成される水素は、再生可能エネルギーである太陽光発電によって作られる「グリーン水素」と呼ばれ、生成過程でCO₂を排出しないクリーンな水素です。作る、貯める、発電するすべての工程からCO₂を排出しない、究極のゼロカーボンシステムです。



3. 地域社会との連携

包括連携協定・災害時対策協定の締結



ユーグループは長野県をはじめ、各自治体と「包括連携協定」や「災害時対策支援協定」など締結し、地域貢献活動を推進しています。

※包括連携協定：官民一体となり、地域活性化と生活の質の向上に寄与することを目的した協定

諏訪市

2022年9月8日、諏訪市役所にて諏訪市の金子ゆかり市長と宇都宮代表の出席のもと、「包括連携協定」の協定式を行いました。ゼロカーボン・災害支援に関することを含む、移動支援、交通安全に関することなど、4項目の連携事項が盛り込まれています。



中川村

2022年5月6日、中川村役場にて中川村の宮下健彦村長と株式会社Uホールディングスは、「包括連携協定」の協定式を行いました。移動支援に関することを含む、災害支援、交通安全、地域産業の振興に関することなど、6項目の連携事項が盛り込まれています。



軽井沢町

2021年10月13日、軽井沢町役場にて軽井沢町の藤巻進町長（当時）と宇都宮代表の出席のもと、「災害時等における対策支援を含む包括連携協定」の協定式を行いました。災害対策を含む、ゼロカーボン、移動支援、交通安全に関することなど、7項目の連携事項が盛り込まれています。



佐久市

2021年6月2日、佐久市役所にて佐久市の柳田清二市長と宇都宮代表の出席のもと、「包括連携協定」の協定式を行いました。地域産業の振興、移動支援、災害対策、医療・福祉・教育・芸術・スポーツ、事業所を生かしたまちの賑わいに関することなど、9項目の連携協定が盛り込まれています。



3. 地域社会との連携

包括連携協定・災害時対策協定の締結



長野市

2021年3月26日、長野市役所にて長野市の加藤市長（当時）、宇都宮代表の出席のもと、「災害時における対策支援に関する協定」を締結しました。長野市内において災害や大規模停電が発生した際に、ユーグループの本社ビル及び長野市内の販売店を一時的な避難場所として開放し、帰宅困難者等を受け入れます。また、非常用の電源として利用可能なハイブリッド車やトラック、フォークリフト等の車両貸与など災害対策に協力します。



長野県

2020年11月10日、長野県庁にて阿部知事と宇都宮代表の出席のもと「包括連携協定」の締結式が行われました。地域産業の振興や、暮らしと地域交通サービス、交通安全対策や防災・減災など、5項目の連携事項が盛り込まれています。



駒ヶ根市

2020年9月4日、駒ヶ根市役所にて駒ヶ根市の伊藤祐三市長と宇都宮代表の出席のもと、「包括連携協定」の調印式が行われました。地域産業の振興、移動支援、災害対策、医療・福祉、教育・芸術・スポーツ、事業所を生かしたまちの賑わいに関する事など、9項目の連携事項が盛り込まれています。



3. 地域社会との連携

災害時の対策支援



ユーグループ本社のプリズムビルは、ゼロカーボン化に向けた取り組みと地域の防災貢献の第一歩として、水素エネルギーシステムを本ビルに導入しました。この水素エネルギーシステムでは電力供給が可能のため、災害発生時に地域の皆様の避難場所として活用ができます。災害の発生、または発生する恐れがある際にはビル1階～3階を開放し、地域住民の皆様や帰宅困難者の受け入れと、フロアの一部を長野市の防災連絡拠点として使用します。また、お手洗いや物資、道路・鉄道などの公共機関の情報提供を行い、受け入れた方々の安全確保に努めます。

ウェルキャブシリーズの展開



お体の不自由な方やご高齢の方がより快適に移動ができるよう、運転や乗り降りをサポートする機能を装備した「ウェルキャブ」シリーズをラインアップしています。また、広い駐車場・多目的トイレを備えたバリアフリー設計の店舗を展開し、どなたでも安心してご来店いただけます。

環境美化活動



豊かな自然と美しい風土に恵まれた長野県をより住みよい生活環境にするために、毎年春と秋の2回全従業員が参加して環境美化運動を実施しています。



モータースポーツへの取り組み



モータースポーツにも力を入れており、「TGRラリー」に参戦しています。また、スポーツカーやモータースポーツを軸に、クルマの楽しさを知って頂く「GR Garage 長野（佐久市）」「GR Garage 松本（松本市）」をオープンしています。



3. 地域社会との連携

トヨタ未来スクール



「自動車会社として子どもたちにできること」に取り組んでいきたいと考え、「トヨタ未来スクール」を毎年実施しています。

クルマまるわかり教室

クイズや映像により、クルマと環境との繋がり、クルマができるまでの工程や様々なエコカーなどを学習します。また、オリジナルゲーム「カー&エコゲーム」により、クルマと環境・経済との関わりについて学習します。



未来モビリティ プログラミング教室

クイズや映像を通して、社会課題やその課題解決方法の一つであるモビリティについて学習します。パソコンを使用しないロボットを使ったプログラミング体験を通じ、身の回りのプログラミング技術やトヨタのSDGs取り組み事例について学びます。

幼児向け交通安全絵本の贈呈



交通事故の低減をめざし、社会活動の一環として1969年から実施しています。毎年、保育園・幼稚園に交通安全に関する絵本を寄贈しています。



安心の家活動・生活安全パトロール



長野県警察本部と協力し、お子様に関わる様々なトラブルや危険を未然に防ぎたいという強い願いから全拠点を「こどもを守る安心の家」に登録しました。また、サービスカーに「生活安全パトロール実施中」のステッカー掲出し、地域の安全に貢献しています。

4. 安全で快適な職場の創出

ユーグループ人事基本方針



1. 当グループは従業員一人ひとりの多様性、人格、個性、人権を尊重し、雇用、能力開発、昇進の機会を公平に提供します。女性の活躍支援や、障がいを持った方の採用等で多様な人材の成長を目指します。
 - ・女性管理職の登用
 - ・障がいを持った方の積極採用
2. 従業員の心と体の健康管理に配慮し、健全で、活気ある職場作りに努めます。当グループでは個人の多様な価値観、個性、プライバシーを尊重し、人種、宗教、性別、国籍、心身障がい、年齢、性的なことに関する差別的言動や、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど、人格を無視する行為をしないことを明示しています。
 - ・全社員に対するメンタルヘルスチェックの実施
 - ・新入社員に対するセルフケア研修の実施



教育・研修制度



若手社員向けの研修からマネジメント層向けの研修まで、業務内容や職責に応じて必要な要素を習得するための様々な研修プログラムが用意されています。

新入社員研修

社会人としてのモラル、企業倫理、交通マナー、取扱い商品知識を身に付けるため、新社会人となった社員に対し集合研修を実施しています。

管理者セミナー

管理者としてハラスメントや店舗経営、働き方について時代の中で必要とされる知識を学ぶ研修を開催しています。

管理職研修

新たなマーケットの中で勝ち残る強固な組織体制を構築するために、管理職研修を開催しています。

資格取得支援

専門知識の学習や資格取得のための費用を支援するなど、自律的なキャリア形成のサポートをしています。

4. 安全で快適な職場の創出

働きやすい職場づくり



仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を実現し、社員がそれぞれのライフスタイルを大切にしながら働ける職場環境をつくり、社員とともに成長する企業を目指しています。

労働安全への取り組み

事業活動に伴う災害や事故を未然に防ぐため4S（整理・整頓・清掃・清潔）を中心に個々に安全意識を向上させ、災害時の発生を常に分析し再発防止に努めています。



健康管理への取り組み

当グループは、メタボリックシンドロームや生活習慣病など日常生活の中で各自が自発的に生活習慣改善に取り組めるよう、年1回定期健康診断を実施しています。



多様な働き方の支援

社員が安心して働けるように、出産や育児、家族の介護のために職場を離れなければならない社員のサポートを行っています。定年年齢は60歳ですが、健康であれば嘱託として継続雇用も可能です。

メンタルヘルスケア

当グループは、心の健康づくりのためメンタルヘルスケア体制（第三者機関のチェック）の充実を進めています。「悩み始めた社員」は、必要に応じて人事部に設置している健康管理課に相談することが出来ます。外部機関の協力のもと、ストレスチェックを全社員が受けることにより、日常的に社員が自己のストレス状態をチェックできる機会を設け、メンタルヘルス不調への気づきを促しています。

特集 ゼロカーボン化と地域の防災貢献に向けて



水素エネルギーシステムの導入目的

2050年のゼロカーボンに向けた取り組みとして、水素を活用した次世代エネルギー利用の検討を始めました。本社プリズムビルに再生可能エネルギーを有効利用する先進の水素エネルギーシステムを導入することで、激甚化する災害に対して地域へ防災貢献の一つになればとの思いから計画が動き出しました。導入にあたり、環境省の補助金*に採択され、「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」の改修において水素エネルギーシステムを建物に導入する取り組みは日本初となります。

*令和2年度業務用施設等におけるネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）化・省CO2促進事業 レジリエンス強化型ZEB実証事業



災害時の対策支援について

ユーグループは長野市と災害時における対策支援に関する協定を締結しています。災害の発生、または発生する恐れがある際にビル1階～3階を開放し、地域住民の皆様や帰宅困難者の受け入れとフロアの一部を長野市の防災連絡拠点として使用します。また、お手洗いや物資、道路・鉄道などの公共機関の情報提供を行い、受け入れた方々の安全確保に努めます。

水素の活用方法

災害時にはビル1階～3階に水素エネルギーシステムから電力供給を行い、帰宅困難者や地域住民の方々の避難場所として約130名の受け入れ体制を整え、停電時には約3日間の電気の提供が可能になります。

特集 ゼロカーボン化と地域の防災貢献に向けて



環境に優しく災害に強い水素エネルギーシステム

水素は利用時にCO₂を排出しない、環境にやさしいクリーンなエネルギーです。水素を吸蔵合金という特殊な金属内に長期間・大量貯蔵しておくことで日常の電力需要や太陽光発電量の変動への追従と、万が一の災害の際も電力エネルギー供給が実現できます。

常時は建物で消費している太陽光発電電力のうち建物の電力使用量が低い休日や好天時の余剰電力を利用し、水を電気分解して水素を生成させ、チタンと鉄の合金で構成された吸蔵合金という金属に水素を貯留しておくことで、平日の電力ピーク発生時や曇天時に必要に応じ水素を吸蔵合金から取り出し、燃料電池に入れて発電させ利用します、災害時は貯留した水素を使って燃料電池で発電することで約3日分の電力供給が可能となります。

ユーグループはSDGsの目標達成に向け、地域への貢献活動を日々続けています。今回の水素エネルギーシステムの導入もSDGsの取り組みの1つとして行っています。

